

山口明啓准教授が 2017 年度電気学会センサ・マイクロマシン部門総合研究会にて優秀論文発表賞を受賞

ナノマイクロシステム分野の山口明啓准教授が 2017 年 6 月 29 日～6 月 30 日に開催された平成29年度電気学会センサ・マイクロマシン部門総合研究会にて優秀論文発表賞を受賞しました。電気学会センサ・マイクロマシン部門総合研究会は MEMS 分野における国内の主導的研究会です。受賞の発表タイトルは”環境食品や食品安全のための高次ナノ構造体を用いた微量分子検出システムへの検討”です。金や銀のナノ粒子の高次構造を用いた表面増強ラマンセンサーを用いて高い感度で食品検疫でのその場観察可能なセンサーを実現したことが高い評価を得ました。感染症応用も期待され超高感度な分子検出が数十秒以内で可能となることを示し、今後の幅広い応用が来待されます。

